



2025年3月21日

株式会社いなげや

いなげや移動スーパー 綾瀬市・藤沢市でスタート 「移動スーパーとくし丸 いなげや 30号車」開業のお知らせ



株式会社いなげや(本社:東京都立川市、代表取締役社長:本杉 吉員)は、2025年3月26日(水)“移動スーパーとくし丸いなげや 30号車”を神奈川県綾瀬市・藤沢市でスタートする運びとなりましたのでご案内申し上げます。

弊社では、移動スーパー事業を展開する株式会社とくし丸(本社:徳島県徳島市、代表取締役社長:新宮 歩)とフランチャイズ契約を締結し、2017年10月に東京都小平市内店舗を拠点に1号車を開業いたしました。東京都・神奈川県・埼玉県で実績を重ねノウハウを蓄積し、この度神奈川県大和市を拠点に30号車をスタートすることとなりました。神奈川県内での移動スーパーは10台目となります。

【移動スーパーとくし丸 いなげや 30号車概要】

1. 目的

- ・買物弱者対策・・・店舗へ出向くことが困難な方のライフライン・インフラ機能
- ・安全安心な食の提供・・・スーパーマーケットとして、地域の『食』を守る
- ・食の楽しさを提供・・・食と人を通して楽しさ、豊かさを創出
- ・就労機会の創出・・・社会参画の拡大といった社会貢献型の仕事を創出
- ・見守り支援・・・定期的な巡回による地域の防災防犯機能

2. 事業内容

販売委託契約を結んだ個人事業主が、小型の特装車両(冷蔵設備あり)で弊社店舗の商品を約400品目1200点程積み込み、地域の顧客を巡回し直接その場で商品を販売します。

3. 30号車の主な営業エリア
・神奈川県綾瀬市、藤沢市
4. 事業開始予定日
・2025年3月26日(水)
5. 販売担当
・小林 丸三(コバヤシ マルミ)
6. 名称
・移動スーパーとくし丸 いなげや 30号車
7. 拠点店舗
・いなげや大和相模大塚駅前店



【創業の精神を受け継ぐ】

明治33年(1900年)、いなげやの創業者である猿渡波蔵は、大八車に野菜や干物、卵や農具などを載せ、東京・多摩地域で売り歩いていました。創業から117年後、大八車から軽トラックに乗り換え、商売の原点となる行商(移動スーパー)を再び始めることとなりました。

【高齢化でニーズが高まる】

買物弱者といわれる方々が全国に904万3,000人(2020年農水省調べ)も存在し、社会問題として深刻化しています。弊社商圏内においても、ご自宅近くの店舗に出向くことが困難な高齢者もいらっしゃる、日々の生活に支障をきたしてくる方々が増えると考えています。そこで弊社は、全国で1189台(2024年9月18日時点)が稼働中の移動スーパーとくし丸のビジネスモデルを導入し、今後益々高まる移動スーパーのニーズに対応してまいります。

【お買物が出来る楽しさを提供】

弊社は「移動スーパーとくし丸」を運行することにより、生活に必要な品物を「見て、聞いて、触って、感じて、選んで…」といったお買物ができる楽しさを提供してまいります。

【“地域のお役立ち業”として貢献】

今後も台数を増やすことを計画しており、増加する高齢者に対して日々の「食」を通じたインフラの役割を果たしてまいります。また、定期的に訪問することで、単なる移動販売で終わることなく、地域の見守りといった“安全・安心”に貢献すべく各自治体と連携を図るなど、真の“お役立ち業”として取り組んでまいります。

いなげやグループビジョンは、「“地域のお役立ち業”として社会に貢献する」としております。とくし丸の活動を通じて、お客様の健康で豊かな食生活の実現に貢献してまいります。

<いなげや移動スーパーとくし丸 公式ホームページ>

<https://www.inageya.co.jp/tokushimaru/>